

1.業務概要

発注事務所名	
業 務 名	
業 務 概 要	
工事施工予定場所	
工事着手予定時期	

2.建設資材利用計画

建設資材	①利用量 (必要数量)	②現場内からの 利用可能量	③再生材の 利用可能量	④新材の 利用可能量	⑤再生資源利用率 (②+③)/①×100	備 考 (再資源化施設までの最短距離(km)及び④の必要理由を記入する)
土 砂	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	%	
砕 石	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト混合物	トン	トン	トン	トン	%	
	トン	トン	トン	トン	%	

*最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3.建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	⑥発生数量	⑦現場内への 利用可能量	⑧也工事への 搬出可能量	⑨再資源化施設 への搬出可能量	⑩最終処分量	⑪現場内利用率 (⑦/⑥)×100	備 考 (再資源化施設又は最終処分場までの距離(km)を記入する)
建設発生土	第1種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	第2種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	第3種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	第4種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	泥土(浚渫土)	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
土 合 計	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	トン	%	
建設発生木材	トン	トン	トン	トン	トン	%	
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	トン	%	
建設混合廃棄物	トン	トン	トン	トン	トン	%	
その他	トン	トン	トン	トン	トン	%	

*建設発生土の区分(既存資料から判断するものとする)

① 第1種建設発生土…砂、れき及びこれらに準ずるもの。

② 第2種建設発生土…砂質土、れき質土及びこれらに準ずるもの。

③ 第3種建設発生土…通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

④ 第4種建設発生土…粘性土及びこれらに準ずるもの。(第3種建設発生土を除く)

⑤ 泥土(浚渫土)…浚渫土うち概ねqc2以下のもの。

*建設発生木材の中には、伐開除根材及び剪定材を含む。

*利用・搬出可能量は、当該設計で対象とする工事目的物に対して現時点で算出可能な数量を記載する。

*建設副産物の搬出計画について、基本的には全量を再利用することを原則として計画する。